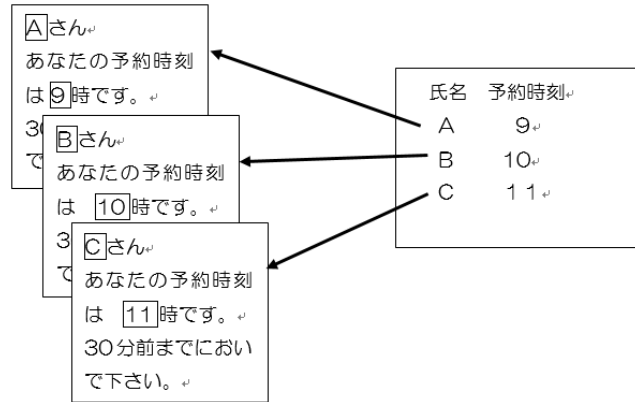


# 高級技 差し込み印刷

名前など一部を空白にした文書を作り、必要部数印刷した後で1枚々々手書きで加筆することがあります。エクセルの表から順次 名前や数字などを取出し、自動的に空白部分に埋め込みながら印刷する機能があります。



4年前に1回勉強しましたが今回は1枚の紙に2名分の案内状を印刷して後で切り離して使う方法を勉強します。

1. コミセンおよび周辺の清掃作業の案内を作ります。会員番号、氏名、班、その班の担当区域を書いたメンバー表をエクセルで作ります(図1)。D列は入力せずに空白のままにしておいてください。

	A	B	C	D
1	会員番号	名前	班	清掃場所
2	1	伊藤博文	A	公園南側
3	2	黒田清隆	C	コミセン入口
4	3	山県有朋	D	コミセン周囲
5	4	松方正義	B	遊園地
6	5	大隈重信	C	コミセン入口
7	6	桂太郎	A	公園南側
8	7	西園寺公望	B	遊園地
9	8	山本権兵衛	D	コミセン周囲
10	9	寺内正毅	D	コミセン周囲
11	10	原敬	B	遊園地
12	11	高橋是清	C	コミセン入口
13	12	加藤友三郎	A	公園南側
14				

図1

2. エクセル の超高級技!

図.1 で A 班は公園南側、B 班は遊園地と関係が決まっているので、清掃場所をいちいち入力しなくても良い方法は無いでしょうか?

	A	B
1	班	清掃場所
2	A	公園南側
3	B	遊園地
4	C	コミセン入口
5	D	コミセン周囲
6		
7		

図2

別のシート(場所対応表)にこの「班」と「清掃場所」の対応を示す表を作ります(図2)。ここで図1のD2セルに =VLOOKUP(C2, 場所対応表!\$A\$2:\$B\$5,2,0) と書きます。

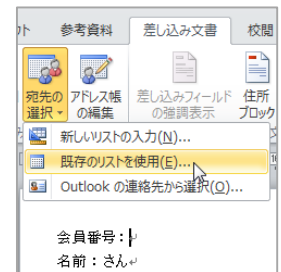
これは C2=班名と一致した行を対応表(図2)から探し、その行の2列目(B列)にある文字(公園南側など)を表示する...という意味の計算式です。

D2セルを下その他のD列のセルにコピーします(セルの右下をドラッグ)。差し込み印刷.xlsx というファイル名で保存します。

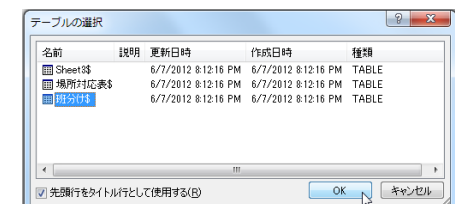
3. 案内状を作る

図3の文書を作成します。

ページレイアウト→段組み→2段 として四辺と段間を適当な値に調整します。左側の段の文書の末尾で Shift+Ctrl+Ent を押してカーソルを右側の段に移動させておきます。

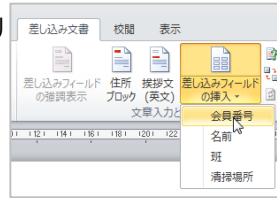


4. 「会員番号:」の後にカーソルを移動させ宛先の選択→既存のリストを使用 をクリックします。「差し込み印刷.xlsx」を指定し、更にシート名(班分け\$)を選択して「OK」。

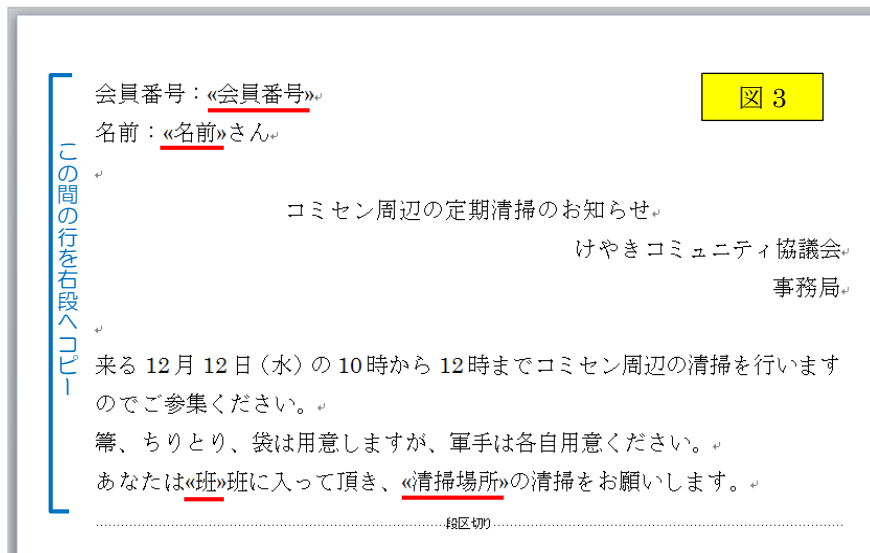


5. 差し込み文書→差し込みフィールドの挿入 をクリック。

→《〈会員番号〉》という文字列が挿入されました。  
《〈会員番号〉》の場所に 1、2・・・12と順次  
代入されて印刷されることを意味します。



同じく「名前」「班」「清掃場所」を挿入し次ページのような案内状に仕上げます。



第1行から「段区切り」の前の行までをコピーし、右側の段に貼り付けます。この状態で「結果のプレビュー」を押すと、実際の印刷状態がプレビューできます。

この状態では左の段も右の段も同じ「伊藤博文さん」宛ての文書になっています。通常、ページが変わる時に宛名なども名簿リストの次の行の氏名に変えますが、今回は同じページの中で右の段に変わる時にもリストの参照行を1行下に移す必要があります。

以下のようにします。

左の段の最後に「参照するリストの行を次の行に移す」という意味の記号を入れます。

「清掃をお願いします。」の後ろにカーソルを移し、ルール→Next Record(次のレコード)をクリックします。

「清掃をお願いします。《〈Next Record〉》と変わりました。

この《〈Next Record〉》が「参照する場所を次(Next)の行に変えろ」・・・という意味です。

6. もう一度「結果のプレビュー」を押すと、今度は右の段は2行目の黒田清隆さんになりました。

▶を押すと2ページ目、3ページ目・・・と順次文字をすげかえて印刷されるのが分かります。

7. また、直接印刷するのではなく、一旦「完了と差し込み」→「個々のドキュメントの編集...」をクリック。

「すべて」を選んでOKすると全てのページに分解したワードファイル

(ここでは6ページもののファイル)が出来

上がります。この形で保存しておけば、エクセルファイルと一緒に持ち歩かなくても良い、実際の完成状態で直感的に誤りが分かる・・・などで、通常はこの形にしてから印刷します。

